



ライオンズ国際協会 336-A 地区 2R 3Z

伊予土居ライオンズクラブ

2006年11月号 会報誌



『全員参加で楽しく愉快な例会』

2006～2007年度
■スローガン■

10月14日土居祭り





企業訪問 『久しぶりの企業訪問です！』

日野： 本日は、訪問インタビューに鈴木会長宅を訪問させて頂きました。早速ですが、仕事の方からお尋ねしますが創業はいつ頃ですか？

鈴木： 昭和50年(1975年)の10月です。

櫛部： 昭和50年と言えば31年前になるが若い頃から独立されましたね。

鈴木： 確か26歳位だと思います。

日野： それまでは何処かに勤められていたのですか？

鈴木： 高校卒業後関川自動車に5年程勤め、それから新居浜で板金塗装の修行をして自宅で中古車販売から始めました。

櫛部： 独立をしようと思った切っ掛けと言うか理由は？

鈴木： 元々車が大好きで一生車に拘わって行きたかったの、ある程度仕事を覚えると自分なりにやって見たかったからです。

櫛部： 聞くところによれば副代理店の中でも全国有数の販売台数だそうですが、その秘訣というか同業他社と違っているところはどん所だと思われませんか？

鈴木： 常に目標値を設定し社員一丸となって目標達成に向けて取り組んでいる訳ですが、その数値を社長の私が言えば押し付けになるので、社員自ら目標値を言わずように仕向けている。それと、顧客情報をコンピューター管理し定期点検や車検の3ヶ月前にはお客様に知らせ、直近には電話などもしています。

櫛部： なるほどー。目標値を社員自らの口で言わず所など素晴らしいやり方ですね。だが、それだけでは全国有数の販売店にはなれないと思うが、まだ他にも何かあるのでは？

鈴木： そうですね。私は常々1台目を売るのは営業の仕事だが、2台目からはサービスの仕事だと言っている。アフターフォローに当たるサービススタッフの対応の良し悪しとその後の顧客との関係を決めるので、顧客毎に管理カードを作成しお客様との拘わりを漏らさず記録して今後の対策として活用している。

櫛部： この辺でライオンズの質問をさせていただきますが、入会の切っ掛けとライオンズクラブの感想は如何ですか？

鈴木： 会社経営も軌道に乗り何か地域に貢献できる事をしたいと思っていたところに、タイミング良く櫛部さんに勧められたから入会した訳です。今は入会させてもらって良かったと思っています。

櫛部： ライオンズクラブのどこが良くて、どこか悪かったと思われる点ですか？

鈴木： 良かった事は、異業種の素晴らしい方々と知り合いになれた事と、今期は会長までさせて頂き自分自身のために多めに勉強になった事です。入会して悪かった事は特に思い当たらないが、しいて言えば皆さんそれぞれのプロ集団だから気を遣い辛抱しなければならない所があるのかなー……。

櫛部： 会長は誰にでも遠慮なくストレートに物事が言えるタイプで、私など小心者にとっては心臓にグサッとくるような事でも平気で言い、余り気を遣い辛抱しているようには思えませんかねー。

鈴木： そう言われて見れば思い当たる所もあるかな……。

日野： 今期の会長スローガンは「全員参加で楽しく愉快的例会」となっていますが、楽しい例会を行うための方策を何かお考えでしょうか？





鈴木： 仕事でも何でもですが楽しくなければ長続きしないし、楽しくなければ出席率の向上もあり得ないので、今期は「楽しい例会作り」に全力で取り組んで行くつもりです。そのためには例会スピーチを企画したり、第二例会には机の配置も変え特に新入会員の意見も聞き、今後のクラブ運営の参考にして変えられるところがあれば大いに変わるよう努力したいと思っています。

日野： 「楽しい例会」となるよう期待していますので是非とも頑張ってくださいと思います。ところで趣味の方は如何ですか？

鈴木： 仕事とゴルフだけで、他にはこれと言った趣味は無いですね。

榎部： 今期「新会員育成プロジェクト委員会」を新しく作りましたが、これを作った理由なども聞かせて下さい？

鈴木： 今期この委員会を作った経緯は、新会員がクラブに十分馴染まないうちに退会される方もいるので、まず新会員に「ライオンズクラブとは」を早く理解してもらう事が第一目的です。そして、会員を何としても45名くらいまでしたいと考えているので、会員増強をする意味でもこのプロジェクトを立ち上げた次第です。

榎部： 最後に会長のモットーは何でしょうか？

鈴木： 私のモットーは「やる気」ですね。人間の能力には大差は無いので、何事も「やる気」で取り組みれば結果に多少の差はあろうと出来ない事はないと思う。創業当初に全国の副代理店大会に夫婦で招待され、優良業者が壇上で表彰されるのを見て何時かは自分も壇上に上がりたいとの思いで「やる気」で頑張った結果が、現在の「スズキ自販愛媛」があると思っている。



「初心忘るべからず」のことわざ通り創業時を思えば、如何なる不況にも堪えられるだけの「強い信念」を持っているつもりだ。そして、「お客様があってこそ自分たちがいるという感謝の心」と、「自分が動かなければ何事も変わらない」と常々自問している。

日野： もう少し伺いたい所ですが紙面の関係もありますので、本日は貴重な話を聞かせて頂きありがとうございます。今期の事業もまだまだこれからですが「やる気」で頑張ってくださいと思います。

詳細は伊予土居ライオンズホームページにてご紹介しております。



趣味のコーナー



旧車にこだわる男！

会員の 岸 博文さんは昭和46年式スカイラインGTR(型式KPGC10)をフルレストアージムカーナーの競技会にも参加しています。

そのガレージは修理工場顔負けの設備があり、驚いたのは旋盤、フライスまで設置されていることでした。又GTRにはセルシオの新車が購入できる金額を投入し完璧な状態に仕上げられていました、これ以上どこまで追求するのが想像できません多分エンドレスだと思うんですが。





第11回伊予土居ライオンズクラブ旗杯大会

主 催： 土居町スポーツ少年団・伊予土居ライオンズクラブ
種 目： ソフトボール/軟式野球/ミニバスケットボール/剣道

10月1日(日)やまじ風公園で、第11回伊予土居ライオンズ旗杯争奪スポーツ少年団の大会が行われ、鈴木会長と長尾第一副会長が開会式に出席いたしました。

当日は生憎の雨で、ミニバスケットと剣道は代表者のみの出席で、ライオンズクラブから記念品の贈呈と鈴木会長の挨拶が行われました。



大橋勝英の種子島探訪(第一回)

9月23日、24日と、鉄砲伝来で有名な種子島を訪問した。目的は2004年5月から試験稼働している「成人識別機能付きタバコ自動販売機」の実態調査である。

天気晴朗にして心地よい風。絶好の日和であった。鹿児島空港から飛行機で30分の島。海が非常にきれい。南北57.5キロ、東西5~12キロの平たんで緑豊かな想像以上に大きな島。ゴルフ場も二つある。隣りに屋久島があり、その昔、対立と戦があったという。

1543年、台風で漂流の明の交易船が、帆網は切れ、櫂(かい)も折れて南端の門倉岬に漂着し地元は大騒ぎとなった。難破船から援助を求めて小舟がうち寄せ、通訳できる明国人(漢字でいくらか通じる)の他に奇異な服装の南蛮人(ポルトガル人)3人を伴っていた。見たことのない異人にも島民や役人は仰天した。砂浜に漢字を書き並べ質問と応答が始まった。「此是 西南蛮種之賈人(ここ)也 非可怪者(これは西南の方の未開の国の種族の商人であって、別に怪しい者ではない)」。敵でないことで安心し、役人は今の西之表にいる島主、種子島時堯(ときたか、家督を受け継いだばかりの14歳)の評決を仰ぐべく、52キロの道を馬で飛ばした。





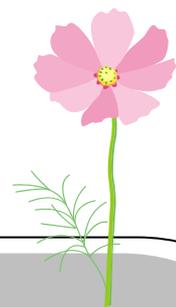
やがて船を西之表に曳航すべく、5挺櫓(ちょうろ)の船12艘が一夜あけて到着した。明国船に曳綱をかけ、星明かりの夜を徹して曳航された。凜々しい姿の少年が到着した船に無造作に乗り込んだ。その少年が島主と知らされたとき、乗組員100有余は初めて「助かった」として歓声をあげ賓客を迎えたのだった。宿泊は法華宗の慈遠寺があてがわれた。時堯は南蛮人が持っている奇妙な筒状の鉄棒が気になった。奇妙な細工もしている。受け取るとずっしりと重い。丸い鉛の玉が飛び出て鹿や猪や飛ぶ鳥をも撃ち落とす道具というのが理解できなかった。百聞は一見にしかず。南蛮人は実演した。野原の高みに杭を打ち、その上に大きな貝殻を置いた。鉄棒に黒い粉を入れ、さらに丸い玉を入れ、火のついた紐をはさみ、鉄棒の一端を右頬にあて、左目を閉じて的をねらう。次の瞬間、鉄棒の先からほとばしる赤い閃光と轟音に皆は度肝を向かされた。腰を抜かしたのである。

(つづく)



武田 由美子さん

入会日:平成 18年 9月 20日
伊予土居ライオンズの皆様はじめまして。せっかく女性会員としてお誘いいただきましたので「ウイ・サーブ」のテーマの下で何とか女性としての立場からの参加をと模索中です。来年は還暦という年を迎えることになっておりますが、「老いも苦しみもあるがままに受け入れて生きよ」(薬師寺長老 松久保秀胤(まつくぼしゅういん)説く)の心境で臨むつもりです。年を重ねても、新しい知識や経験を受け入れ続ける。それが豊かな人生を歩むことのようにです。ライオンズクラブを通して会員の皆様と共に歩んでまいりたいと思っております。よろしくご指導ください。



井川武重さん

入会日:平成 18年 9月 20日
この度、スポンサー石水昭夫氏のご指導を頂新入会員とさせていただきます土居地区の井川武重です。浅学非才で何の取り柄も無い者ですがよろしくお願ひ申し上げます。入会式には厳粛な催しと会員の皆様の温かな歓迎を頂き、我を忘れて緊張してしまいましたが会員なったことを誇り思い大変うれしく思っております。ライオンズ道徳綱領を守り会合に規則正しく出席し…。従来から社会奉仕活動には関心を抱いておりましたので少しは理解しているつもりですが、先輩会員の益々のご指導を頂きながら邁進してゆく所存です、どうか末永く育ててください。





福祉フェスティバル



10月7日に伊予三島運動公園体育館にて第2回四国中央福祉フェスティバルが開催され、当クラブと伊予三島ライオンズクラブ合同で献血運動を行いました。献血受付者数95名(不採血14名)で81名の方が400mL献血されました。ご協力大変ありがとうございました。尚、先に行われた福祉フェスティバル出店(展)団体紹介において当クラブの主な奉仕活動の紹介を受けています



伊予三島ライオンズクラブ結成45周年記念式典

伊予三島ライオンズクラブ45周年記念大会が平成18年10月22日ホテルグランフォーレで、遠くは台湾の台南市名人国際獅子会、LL林愛嬌、スポンサークラブの北九州ライオンズクラブ、友好クラブの秋田山王クラブの皆さんや来賓の方々、336-A地区の方々あわせ約240名の参加をもって盛大に開催されました。記念大会後の祝宴では伊予三島少年少女合唱団のコーラス、生まれながら



盲目的白石百子先生の琴の演奏に感動しました。他秋田のきりたんぼの屋台などにぎやかに開催されました。





ラブリバー（清掃奉仕）

9月24日

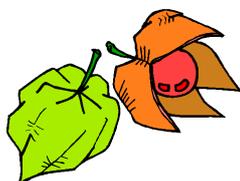
土居町北野広場にて

ライオンズ会員13名と北野住民の皆様約30名と合同で主にエンジン草刈機で雑草を丁寧に刈りました、作業前は全部の刈り取りが出来るか不安でしたが見事に終了です。皆さん北野住民の皆様ご苦労様でした。



10月1日 土居町ふるさと広場にて

秋祭りを迎え太鼓台のかきくらべ場所となるふるさと広場の清掃と草刈を地元太鼓台運営関係者の方と合同で行いました。気持ちのいい秋祭りが期待できます、皆様ご苦労様でした。





PR情報 日野 寿光

“編集後記”

秋祭りも過ぎ朝夕はもう晩秋の気配を感じる季節になりました。あと一ヶ月もするとあわただしい年末を迎える時期なのですが、そう言えば年間を通じて今の時期がもっとも過ごし易いのかと思います。さて次回の会報誌は1月の第2例会に発行します原稿依頼などお願ひしますので宜しくお願ひします。では、季節柄風邪などを召されないようお身体ご自愛ください。



伊予土居ライオンズクラブ

愛媛県四国中央市土居町入野 965-1
土居町商工会 2階
TEL:0896-74-6235
FAX:0896-74-1136
E-Mail:doi@lionsclub336a.org
URL:<http://doi.lionsclub336a.org/>



2006年11月号 No.129
発行日:平成18年11月15日
発行所:伊予土居ライオンズクラブ事務局
発行人:ライオンズ情報委員 日野寿光
企画編集:株式会社ウイン・ドゥ